

事務事業名		野生鳥獣進入防止柵設置補助事業				<input checked="" type="checkbox"/> 事後(中間)評価対象事業				
総合計画	政策名	4 自然環境と生活環境の調和のとれたまちづくり				所属課	産業振興課	担当	農業振興担当	
	施策名	1 自然環境保全の推進				課長名	高橋 好雄	担当者名	柿沼 肇	
予算科目		会計	款	項	目	事業	事業コード名	関係法令・条例等		
		1	0	5	0	2	0	1	0	2
						野生鳥獣対策費				
事業期間		<input type="checkbox"/> 単年度のみ		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 26 年度)		<input type="checkbox"/> 期間限定 (年度~ 年度)				
事務事業の概要 (事務事業の内容を記載)		<p>1 事務事業概要 シカ・イノシシによる農作物に対する獣害については、町猟友会に委託し個体数調整を実施するなどしているものの、平成23年3月の東日本大震災以降は、セシウム等の基準値超え等により、狩猟意欲の低下などもあり、年々増加傾向にある。各農家が実施する侵入防止柵の設置について、資材の購入費に対し補助することにより、獣害の低減を図る。 H20年度農作物被害額 イノシシ 336千円 シカ 2,650千円 H24年度農作物被害額 イノシシ 9,414千円 シカ 7,916千円</p> <p>2 概算事業費(※ランニングコストが掛かる事業については、概算で算定し記入すること) 補助率1/2以内 補助上限額 イノシシ対象 50千円 シカ対象 100千円 補助予定件数 イノシシ・シカ各20件 予算額 50千円×20件+100千円×20件=3,000千円</p>								

(1) 事務事業の目的と指標		(4) 活動指標 (事務事業の活動量を表す指標)	
① 活動の計画(活動の量・大きさ・規模等)	侵入防止柵設置件数(補助件数)	名称	単位
② 対象(事業は誰・何を対象にしているのかを記載)	シカ・イノシシ	ア イノシシ対象	件
③ 目標(この事業によって、対象をどうしたいのかを記載)	鳥獣(イノシシ・シカ)の農業被害額を減少させたい	イ シカ対象	件
		(5) 対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位
		名称	単位
		ア イノシシ個体数調整	頭
		イ シカ個体数調整	頭
		(6) 成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位
		名称	単位
		ア 農業被害額(イノシシ)	千円
		イ 農業被害額(シカ)	千円

(2) 指標・総事業費の推移		単位	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成32年度 総合計画 最終年度
活動指標	ア	目標値 件		20	20	20	20	20
	イ	実績値 件		20	20	20	20	20
対象指標	ア	目標値 頭	50	50	50	50	50	50
	イ	実績値 頭	100	100	100	100	100	100
成果指標	ア	目標値 千円	24年度	9,000	8,000	7,000	6,000	3,000
	イ	実績値 千円	24年度	7,916	6,000	5,000	4,000	2,000

計画		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成32年度
事業費	国庫支出金	千円					
	県支出金	千円					
	地方債	千円					
	その他	千円					
	一般財源	千円		3,000	3,000	3,000	3,000
	事業費計(A)	千円	0	3,000	3,000	3,000	3,000
人件費	正規職員従事人数	人					
	延べ業務時間	時間		50	50	50	50
	人件費計(B)	千円	0	200	200	200	200
トータルコスト(A)+(B)		千円	0	3,200	3,200	3,200	3,200

実績		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成32年度
事業費	国庫支出金	千円					
	県支出金	千円					
	地方債	千円					
	その他	千円					
	一般財源	千円					
	事業費計(A)	千円	0	0	0	0	0
人件費	正規職員従事人数	人					
	延べ業務時間	時間					
	人件費計(B)	千円	0	0	0	0	0
トータルコスト(A)+(B)		千円	0	0	0	0	0

評価項目	説明	事前評価結果	実施後の状況	事後評価結果
目的 妥当性 評価 ① 公共関与の妥当性 なぜこの事業を町が行わなければならないのですか？税金を投入して、達成するものですか？	獣害対策については、個体数調整(捕獲)を町猟友会に委託しているが、被害が年々増加している状況にあり、個体数調整以外にも更に対策を進めなければ、ますます被害が拡大する恐れが大きい。	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり		<input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり
有効性 評価 ② 着手・実施の必要性 この事務事業をなぜ着手・実施しなければならないのか？先延ばしにできない理由は何か？	毎年農作物被害が増加していることに加え、獣害が続いた場合、耕作意欲が失われ、耕作放棄地の増加等が懸念される。	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり		<input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり
効率性 評価 ③ 総事業費の算定根拠 算定にあたってコスト削減策を考えたか？将来のコスト増要因に対して対策が考えられているか？	1件当たりの補助金に上限額を設定している。又、補助対象を、資材の購入費に限定し、設置費用は、対象としていない。	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり		<input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり
公平性 評価 ④ 受益と負担との関係 事業の内容は受益と負担との公平性が考慮されているか？	補助率を1/2以内として公平性を確保している。	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり		<input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり

3 事前評価結果

事前評価日： 平成 26 年 1 月 31 日

(1) 事前評価者として判断した今後の事業の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 1次案のまま採択 <input type="checkbox"/> 下記条件で採択 <input type="checkbox"/> 不採択 <input type="checkbox"/> 差し戻し	
(2) 採択条件	(3) 指示事項(事務事業に関する指示、事後(中間)評価日程等) ・補助要綱及び予算を超えた場合の対応について十分検討すること

4 成果検証

事後(中間)評価日： 平成 年 月 日

事務事業実施後の概要 (実施しての効果、受益者等の反応、問題点、課題等を記載)	
--------------------------------------------	--

(1) 評価結果(今後の方向性) <input type="checkbox"/> 優(成果大) <input type="checkbox"/> 良(良好) <input type="checkbox"/> 可 <input type="checkbox"/> 不可(成果なし・中止・計画変更必要)	
(2) 総評	(3) 指示事項 <input type="checkbox"/> 再評価対象事業